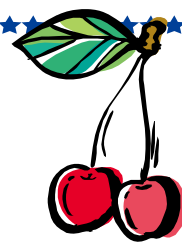




歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町792-6 ☎815-2010

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

時の流れは早いもので、2012年も気がつけばもう半分が過ぎましたね。さて、今年はオリンピックの年！まもなく「ロンドンオリンピック」が開幕となります。前回の北京オリンピックからもう4年経ったのかと思うと、時の流れの早さに驚きませんか？今回のロンドンオリンピックは7月27日～8月12日の日程で行われますが、ロンドンと日本の時差は8時間あるため、日本でのテレビ放送は夕方～深夜にかけて行われるそうです（期間中は寝不足の人が多く出そうですね）。ところで、今回のオリンピックから「野球」と「ソフトボール」が廃止となりましたが、これら競技が強い日本にとっては少し寂しい感があります。なぜこれら競技が廃止になったのかというと、「世界的に普及していない」「ルールが複雑」「試合時間が長い」などの理由が挙げられていたそうです。実際、ヨーロッパ・南米・中東・アフリカでは野球のルールを知っている人は少なく、日本のように野球をメジャーなスポーツとして捉えているのは、アメリカ・韓国・台湾・キューバといった限られた国だけになってしまうからです。しかしながら、その一方で「柔道」の普及ぶりは凄いものがあります。例えば、日本の柔道人口が約20万人なのに対し、フランスは約80万人もいるそうです。そもそも柔道は約100年前、単に試合の勝敗や技だけでなく、“柔道を通して体と精神の鍛練”を海外に伝えるため、日本から多く柔道家が海外に派遣されました。また、国際的に広めるため日本固有のルールを変更したこともあったそうです。だからこそ、柔道がオリンピック種目として今も存在しているのは、こういった地道な普及活動があったからこそなのでしょう。話は戻りますが、今後「野球」「ソフトボール」がオリンピック種目として復活するには、アメリカや日本だけでなく世界各国でも盛んに行われることが必須となるでしょう。それはさておき、皆さんもオリンピック観戦の時に「この競技はどうやってオリンピックの正式種目となったのか？」を考えながらご覧いただくと、また違った楽しみ方ができるのかもしれないですね。それでは、オリンピック観戦で夜更かしして体調を崩さないよう（苦笑）オリンピックを楽しんで下さいね。



あなたも
“**歯科通**”に
なれる…!?

歯医者が出題する“歯とお口のクイズ”

私たち人間は、生まれた時は歯が1本も生えていませんよね。そして、生後6～8ヶ月頃から少しずつ歯が生え始め、だいたい3歳頃で20本全ての乳歯が生えそろいます。

では、人間以外の動物の歯はどうなっているのでしょうか？例えば、サメの歯は数千回も生え変わるそうです。また、イルカには200本くらいの歯があり、並びそろっている姿はまるで小さなノコギリのようにも見えますよね。さて、ここでこんな問題を出題！

問題

下の動物の中で“生まれた時すでに歯が生えそろっている動物”はどれでしょう？

1

ライオン



2

サル



3

ウサギ



4

アザラシ

